

米子市 文化活動館 通信



ハクチョウに仲間入りした
マナヅル幼鳥



優雅に飛翔する
マナヅル幼鳥

人気の講座 利便性高めて募集へ



館長 中村輝彦

長かったコロナ禍での行動制限によりやく終わりが見え、日常の生活が取り戻せそうです。この間で疲弊した経済が一日も早く回復していくことを願いたいと思います。さて、当施設も開館4年目を迎えました。今年度も各種講座を準備し、受講生を募集いたします。例年、受講希望が殺到して人気のベーシックヨガ教室は、今年は2回開講します。日程と時間帯を分けての開講です。利用者のニーズに応じて設定しました。

なお、各種講座の受講料ですが、諸般の事情により改定させていただきます。どうぞご理解を頂きますようお願いいたします。当館は古い施設ではありますが、リーズナブルな使用料と午後10時まで開館するなど利用しやすい施設としています。今後とも利用者のご要望を出来るだけかなえられる様に努力してまいります。また、当館のホームページは今年1月、スマホ対応とするなど、リニューアルしました。ご活用下さい。今年は市民の念願だった米子駅の南北自由通路が8月頃に供用開始の予定です。「米子がいな祭」の開催と合わせ、市のにぎわいがさらに増すよう、皆で盛り上げて参りましょう。

弓浜絨の世界(番外編)

文様 ④

ツルは、私たちに最も親しまれている野鳥の代表格です。かつては、国内各地に飛来していました。優雅で気品ある立ち姿が自慢です。一方、飛翔するツルをあしらった「格子に鶴文」は、群れで舞う華麗な雰囲気伝わってきます。

「寿に柏葉(かしわば)にふく名前文」は、表裏3枚の柏葉を巧みに組み合わせたデザインが光ります。2点とも弓浜絨です。



格子に鶴文(山陰歴史館蔵)

寿に柏葉にふく名前文
(山陰歴史館蔵)



木洩れ日
散歩

迷子のツルが安来に飛来 鹿児島で大異変の影響か 島根県安来市の能義平野で今年1月9日、マナヅル1羽が舞い降りる姿を目撃しました。昨年春・夏に誕生した幼鳥で、当初は越冬中の約1700羽のコハクチョウを警戒していましたが、いつしか群れに交じって田んぼで採餌するようになりました。ツルは、家族で行動するため、この幼鳥は親からはぐれ、能義平野に迷い込んだとみられます。マナヅルが安来に単独や群れで訪れることはあります。ただ、その多くが春、中露国境付近の繁殖地に渡る「北帰行」でコースを外れて姿を見せません。今回は時期が早すぎます。加えて、安来の前に出雲市にいたとの情報があります。11-12月頃に、はぐれたようです。実はこの頃、ツルの世界最大の越冬地・鹿児島県・出水(いずみ)平野で、大異変が勃発しました。出水に降り立ったツルたちが、突然、大群で韓国・順天(スンチョン)市の湿原に向かいました。この時、例年3000羽程度しか越冬しない順天市に約1万羽が殺到したようです。異常な大移動です。野鳥専門家は、鳥インフルエンザの流行を疑います。この時期、出水で鳥インフルに感染したツルがバタバタと死にました。過去最多1300羽以上(1/6 日現在)といえます。多くの仲間が目の前で衰弱し、命を失ったことで危機感を抱いたツルたちが、出水の前に立ち寄った韓国に逃げ帰る「緊急避難」をしたとの見方です。(裏面に続く)

安来に現れたマナヅルの幼鳥は、家族が出水平野と韓国間で行われた緊急避難の騒動に巻き込まれ、迷子になってしまったのでしょうか。そう推測しても不自然ではありません。山陰地方まで旅した幼鳥と越冬を終えて出水から北帰行で中露国境付近の繁殖地に渡る家族との再会は困難でしょう。山陰は、ツルの北帰行コースから大きく外れています。出水のツルは1月31日、最初の350羽が北帰行を始めました。この日、マナヅルの幼鳥は、安来でコハクチョウと一緒にいました。そして、安来では、2月25日を最後に幼鳥の姿が消えました。移動したようです。安来のコハクチョウと出水のツルの大半は、ともに3月8日までに北帰行に旅立っています。鳥インフルが引き起こした異変は、マナヅルの家族を引き裂き、幼鳥に過酷な現実を突きつけました。幼鳥とツルの群れが、どこかで合流してほしい。はかない夢ですが、2か月近く観察してきて、強く願っています。(文、写真とも山根)



募集 弓浜紉体験教室

- ◆日時 5/9(火) 13:30-16:00
- ◆講師 工房ゆみはま
- ◆内容 糸紡ぎ、機織りなどの工程を学び、コースター製作
- ◆定員 10人(先着順)
- ◆受講料 1000円(材料費込み)
- ◆募集開始 4/7(木)9:00

学べる講座 アラカルト

募集 ベーシックヨガ教室

今年は2回開催します。①か②のどちらか一つを選んで申し込みください

- ◆期間①6/20-9/12の火曜日のうち12回
時間 19:30-21:00

- ②8/21-11/20の月曜日12回
時間 10:30-12:00

- ◆講師 山口由紀子先生
- ◆定員 各20人(先着順)
- ◆受講料 5000円
- ◆募集開始 広報よなご6月号参照



募集 実用書道教室

- ◆期間 6/26-10/2の月曜日のうち12回
- ◆時間 13:30-15:00
- ◆講師 後藤溪流(文平)先生
- ◆定員 16人(先着順)
- ◆受講料 5000円(別途手本コピー代)
- ◆募集開始 広報よなご6月号参照



募集 初めての中国語教室

- ◆期間 7/28-10/20
金曜日の12回
- ◆時間 19:00-20:30
- ◆講師 呉燕先生
- ◆定員 16人(先着順)
- ◆受講料 5000円(別途教材費)
- ◆募集開始 広報よなご7月号参照



募集 織物教室入門講座

- ◆期間 6/27-9/12
隔週火曜日のうち6回
- ◆時間 13:30-15:30
- ◆講師 手織工房 藍慈彩
- ◆定員 12人(先着順)
- ◆受講料 6000円(別途材料費)
- ◆募集開始 広報よなご6月号参照



令和5年度の教養講座

は、このほかに織物教室入門講座の修了生などを対象とした織物教室初級講座を継続的に実施します。また、秋には例年人気となっている韓国料理教室を予定しています。

募集 いざという時の着物着付教室

- ◆期間 7/24-10/30 月曜日のうち12回
- ◆時間 19:00-21:00
- ◆講師 田中佳津子先生
- ◆定員 14人(先着順)
- ◆受講料 5000円
- ◆募集開始 広報よなご7月号参照



休館日 ◆4月=毎週水曜日と29日(土)◆5月=毎週水曜日と4日(木)、5日(金)◆6月=毎週水曜日◆7月=毎週水曜日と17日(月)

利用時間 開館日の利用は平日と土曜日が9:00~22:00(日曜日は17:00まで)。部屋貸し出しは閉館の15分前まで。



あとがき

消防訓練を3月15日、全スタッフ参加で行いました。米子消防器具商会さんより、ご指導を頂きました。日ごろは、なかなか意識する機会も少ないですが、改めて命の大切さを実感いたしました。消火器の使い方、避難誘導などを学び、火災だけではなく地震、津波、最近ではミサイルも飛んでくる。いつ何が起きるかわかりません。そんな時、自分の命は自分で守る、が基本です。そうはいっても、施設を利用されているお客様、スタッフ、みんなの大切な命を守れるよう、年2回の訓練は必要だと切実に感じました。(m)

お申し込み・お問い合わせは 米子市文化活動館 ☎0859(34)5154

〒683-0802 鳥取県米子市東福原8丁目24-31 FAX=0859(30)4788

米子市文化活動館 指定管理者 旭ビル管理株式会社 <https://y-bunkak.com>